

# サルビア

平成29年6月13日 第16号

## 安全教育の充実について

学校における安全教育については、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3つの領域について、危険予測・危険回避能力を高めるために、児童の発達の段階を考慮して、教育活動全体を通して体験的な活動を取り入れながら指導しています。今回は、安全教育に関する取組を紹介します。

### 1年生、4年生 交通安全教室

4月25日(火)、4年生は1, 2校時に、1年生は3, 4校時に伊勢崎警察署の方、交通指導員さん、PTA学級委員さんをお招きして、交通安全教室を行いました。

4年生は自転車点検の方法や正しい自転車の乗り方を、1年生は正しい道路の歩き方や横断歩道の渡り方を教えていただきました。

命を大事に、交通事故に絶対遭わないように、教えていただいたことをしっかり守って欲しいと思いました。

PTA学級委員のみなさんにはお忙しい中、大変お世話になり、ありがとうございました。



### 避難訓練(地震)

5月2日(火)の1校時に大規模地震の発生を想定した避難訓練を行いました。

今回の訓練では、児童は、全体の安全を確保するための約束「おかしも」(おさない、かけらない、しゃべらない、もどらない)を守ることを、教職員は災害発生時の避難誘導のさせ方を、確認しました。2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災では、多くの尊い命が失われました。地震は、いつ、どこで発生するかわかりません。今回学んだことをしっかりと身に付けて、万が一の時には情報を正しく判断して行動できるようになって欲しいと思います。

### 通学路の危険箇所点検結果について

例年4月に、5, 6年生の保護者のみなさまにお願いして、通学路の危険箇所点検を行っています。今年度の結果は裏面のとおりとまとめ、市の教育委員会に提出しました。

また、校長が、5月16日(火)に出席した「赤堀地区安心安全パトロール協議会」の際には、この結果を、駐在所をはじめ関係するみなさまに情報提供させていただき、地域対象の関連する調査等がある際は、改善要望の回答にご協力いただきたい旨をお願いしました。

